



広報

福島県大熊町

創る、巡る、贈る おおくま。

おおくま

9

2024

No. 626

お囃子にのせる恩返し

5年ぶりに会津・東山温泉盆踊りが開催され、8月3日の「大熊町民の夕べ」に熊川の有志らや会津地方に避難中の町民が集いました。(記事2ページ)

東山温泉で5年ぶりの交流 東山温泉盆踊り「大熊町民の夕べ」



檣でお囃子を奏でる熊川の有志ら



会津若松市民らと一緒に踊る町民ら

会津若松市・東山温泉夏の風物詩である東山盆踊りが8月1日から4日まで開催され、8月3日に「大熊町民の夕べ」が行われました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止していた東山盆踊りが再開されたのは5年ぶり。

「大熊町民の夕べ」開催にあたり吉田淳町長は「震災直後に大変お世話になった東山温泉での5年ぶりの盆踊り、大熊町民の夕べの開催にお招きいただけただこと感謝申し上げます」とあいさつしました。

川の真ん中に建つ、約14メートルの檣の上で、熊川の有志らによる熊川盆唄とお囃子が披露されました。

会津若松市に避難している町民らが、市民や観光客らと一緒に盆踊りを踊って交流を深めました。

園児らがおばけに絶叫

認定こども園学び舎ゆめの森・夏まつり



おばけに扮した先生に驚く園児(右)

認定こども園学び舎ゆめの森の夏まつりが8月2日に行われ、保護者や先生らが企画・制作した手作りの夏まつりを園児らが楽しみました。

園児らはあみだくじで3チームに分かれ、夏休み中の校舎を利用して設けられた射的やおばけ屋敷をチームごとに周遊。暗幕などを使って教室を真っ暗にしたおばけ屋敷では、義務教育学校の先生や関係者も協力し園児らを驚かせました。

児童らがお客様をおもてなし

大熊こども夏まつり



景品がなくなるほど人気だった射的

大熊こども夏まつりが7月24日、町交流施設 linkる大熊で開催され50人以上が来場しました。

大熊町ゆめの森放課後児童クラブが夏休み企画として本イベントを運営。町立学び舎ゆめの森に通う児童らが、射的や輪投げなどの縁日の屋台を模したブースを自分たちで運営し、来場した地域の住民や学び舎ゆめの森の園児らを笑顔にしました。

コミュニティスペースで納涼 下野上地区再生賃貸住宅交流会 ucchaco!



流しそうめんを楽しむ参加者ら

下野上地区再生賃貸住宅の入居者を対象に毎月開催されている交流会「ucchaco!」が7月21日、原再生賃貸住宅コミュニティスペースで開かれました。

今回は大野南、原の両住宅の全入居者を対象としたイベントを入居者ら自身が企画し運営。近隣住民も加わり約40人が流しそうめんやスイカ割りを楽しみました。

また29日には大野南住宅で朝活が行われ、10人が参加。出勤前にみんなでラジオ体操をし、挽きたてのコーヒーを堪能しました。

標葉地域の特色を発信 葛尾村で初の標葉祭り



タオルを購入する来場者（右）

今年で8回目となる標葉祭りが8月3日、葛尾村みどりの里広場で行われました。

標葉祭りは、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村の4町村からなる標葉地域の特産品や伝統文化などを発信する祭りで、葛尾村での開催は初めて。

大熊町からはゼロカーボン推進課、まちづくり公社、ネクサスファームおおくまが出店。町の特産品である「帰忘郷」の日本酒と甘酒や町内産イチゴの加工品、タオルなどの販売が行われました。

ゆめの森で新たな友達づくり 双葉郡小学生絆づくり交流会



貨物列車ゲームを楽しむ児童ら

双葉郡の小学校が一同に会し、児童らの交流を深める「双葉郡小学生絆づくり交流会」が7月29日、町立学び舎ゆめの森で行われました。ふたば未来学園高の生徒の協力のもと、8町村10校で250人以上の児童らが夏休みの思い出を共有しました。

本事業は今回で7回目となり、同校で開催されるのは初めてです。児童らは低、中、高学年の3グループに分かれ、他校の児童らと協力してゲームを繰り返し絆を深め合いました。

一日だけの特別授業 双葉郡中高生交流会



古舘伊知郎さんの授業を受ける生徒ら

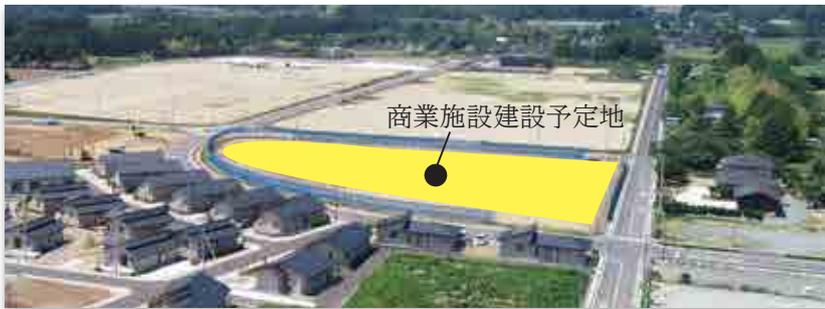
第9回双葉郡中高生交流会「FUTABA 1 DAY SUMMER SCHOOL」が8月1日、ふたば未来学園中学校・高等学校で行われました。

今年も作詞家の秋元康さんのプロデュースにより各分野の専門家8人を講師として招待。橘ケンチさん、中務裕太さんによるダンス教室や、平子良太さんによる生ドーナツの誕生秘話や試食、古舘伊知郎さんによるしゃべり場教室など、生徒らは6つのクラスに分かれ、さまざまな分野の魅力ある特別授業を受けました。

双葉郡初進出を大熊の地で マルトグループHDと協定



協定書を交わし集合写真に収まる吉田町長（中央左）と安島社長（中央右）



マルトグループHDと協定を結んだ原地区の商業施設建設予定地

町とマルトグループHDは7月25日、大熊町役場で大熊町原地区商業施設の出店に関する協定を締結しました。

マルトグループHDの双葉郡進出は初めてで、東日本大震災以降、町内にスーパーが立地するのも初。令和9年度のオープンを予定しています。

吉田淳町長は「町民が求める商業施設がスーパーマーケットであることを確認しており、今後帰還や移住定住を進める上で欠かせることのできない施設。末永く協力し合って地域の生活環境の充実、活性化に取り組んでいきたい」と述べ、マルトグループHD安島浩代表取締役社長は「浜通りの復興に商業施設が必要で、誰かがやらなくてはならないと、吉田町長の熱意が背中を更に強く押してくれた。食卓に笑顔があふれる町づくりをしたい」とあいさつしました。

町内で放射線研究を促進

大熊町連携大学等研究・支援センター開所



施設の鍵を手渡す新保副町長（右）

大熊町連携大学等研究・支援センターの開所式と同センターに入居する大阪大学福島拠点への鍵の引き渡し式が8月6日に行われ、新保隆志副町長から大阪大学・中野貴志核物理研究センター長へ施設の鍵が手渡されました。

同センターは清水JVから町が寄付を受けた施設を改修していました。今後は復興推進や放射線研究をしている大阪大学を主とした複数の大学等の活動拠点として活用されます。

ETCで地域貢献

ふくらむ Fukurum カード加入



Fukurumカードのレプリカを持つ吉田淳町長（左）

町はクレジットカードの利用額の一部が、県産品の風評被害払拭や学生の商品開発の支援になる「Fukurumカード」の法人会員に7月29日加入しました。

県内自治体での加入は6例目で双葉郡内では初です。大熊町では、公務による車両での長距離移動の際にETCカードを使用しており、今回の法人会員加入を機に、現在使用しているETCカードを順次Fukurumカードへの切り替えを行っていきます。

祝 百 歳 賀 寿



7月28日で百歳を迎えた野上1区の佐藤正明さんへの賀寿贈呈式が8月8日、大熊町役場で行われました。福島県から祝状と記念品の木杯、町からは百寿記念の目録が手渡されました。

佐藤さんは大正13年生まれ。長生きの秘訣は、「30年以上続けてきたボランティアや昔教わった体操を毎日欠かさずすること」と話しました。

百歳おめでとうございます。

町内を視察しポスター制作

会津短大 絵手紙寄贈



ポスターをデザインした学生ら（前列4人）

会津地域連携センターはエフエム会津と連携し、会津若松市に避難している町民に時候のあいさつを届ける絵手紙ポスターとはがきを制作しました。デザインは会津大学短期大学部高橋延昌教授のゼミ生が担当。今年度は初めてゼミ生が町内を視察し、学び舎ゆめの森などで見聞きした経験をもとに作品を制作。贈呈式は7月24日、町役場会津若松出張所で行われました。ポスターは市内の復興公営住宅や学び舎ゆめの森に掲示され、絵はがきは市内の郵便局など数か所で配布されます。

菓子づくりで文化の違い感じる

国際交流サロン



柏もちの作り方を教わる外国人参加者（中央）

国際交流サロンが7月27日、学び舎ゆめの森で開かれました。今回のテーマは「柏餅作りで国際交流」。

サロンには町内に居住、勤務している中国、ネパール、マレーシア、フランスの4か国の外国人の方が参加。町国際交流協会員らと餅をこねるところから手作りしました。

参加者らは「手作りをするのは懐かしい」「自国では小豆の使い方が違う」など文化の違いを感じながら交流を深め合いました。

文化の違いや学びを報告

希望の翼報告会



オーストラリアでの体験を報告する団員

おおくま希望の翼に参加した派遣団員の報告会が7月27日、学び舎ゆめの森で行われました。

今年3月に派遣事業で渡豪し、現地での交流や研修をした6人の学生らが学びや文化の違いによる体験談を発表しました。

団員の発表後の質疑応答では、今後の事業の改善に役立つ話やオーストラリアの食文化の話などがあがり、佐藤由弘教育長は「経験を言語化して記憶に残すことは大事なこと」と述べました。

げんば だより

今日も町のどこかで再生のつちおと 槌音が響いています。その様子を連載でお伝えします。

問 大熊町役場 企画調整課 地域振興係

⑭クマSUNテラス



建設が進むクマSUNテラス。左奥は JR 大野駅

大野駅西商業施設「クマSUNテラス」の建設が急ピッチで進められています。11月末の完成を目指しており、7月末現在のしんちよく 進捗率は35%です。

大小5つの建物にコンビニ1店、飲食店5店、物販店1店が入居し、建物の完成後にそれぞれオープン準備を始めます。来年3月には隣接する産業交流施設「CREVA おおくま」とともに開所式を開催します。

屋内にはキッズルームや共用スペースも用意します。また、建物群の東側に芝生広場も整備し、日常の憩いの場やイベント会場として幅広く利用していただく予定です。

かつて駅前商店街で開催されていた聖徳太子祭では、通りを歩行者天国にして多くのお客さんを集めました。あのにぎわいを思い出してもらえるよう、クマSUNテラスを中心とした魅力あるエリアにしたいと思っています。

OIC OKUMA INCUBATION CENTER
大熊インキュベーションセンター

入居者紹介

OICってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター（OIC）には、現在120以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざまです。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えるため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。



OIC公式HP

フーム

入居企業インタビュー第29社目は、新しい時代の漫画・WEBTOONに向き合い、日本と韓国で制作および制作支援事業を展開するフームです。

代表の福井美行さんにお話を伺いました。

WEBTOONとは2000年初頭に韓国で始まった、スマートフォンなどで縦にスクロールしながら読めるフルカラーのデジタルコミックです。

フームは、日本や韓国から制作者を発掘してコンテンツを制作したり、すでにあるコンテンツを異なる国・地域向けに文化的背景も含めて翻訳した作品（ローカライズ作品）を発信したりしています。

2022年にはWEBTOONローカライズ実績が200作品を突破し、さらには小説をもとにした作品が2024年夏にアニメ化することが決定しました。

大熊町では、生成AIを使った漫画制作ツールの開発を検討中。

RUTILEAが町内に建設中の、コンピューターの計算処理を行うための施設であるGPUセンターを、生成AIの開発に利用するといえます。

実は、福井さんは、新卒時代の初仕事が富岡町の原子力発電をアピールする「エネルギー館（現 東京電力廃炉資料館）」に関わることであり、必然性を感じて大熊町での事業に踏み出したとのこと。

「おそらく自身の最後の仕事なので、地域のお役に立てることをしていきたい」と語っています



MLP

次にご紹介するのは盛岡の赤十字病院で長年災害医療や救急救命に携わってきた徳田裕子さんが代表を務めるMLPです。

MLPは医療に関わる幅広い事業を展開しており、主な活動内容としては、イベントでの応急処置や救急対応を行うイベント救護や、救命講習、ペットの健康と安全をまもるペットセーバーの講習などの活動のほか、医療や防災、介護に関するアプリケーション開発のサポートなどがあります。

その中でも力を入れているのが民間救急。現在は、救急隊員の負担軽減や、医療現場の逼迫をなくすために救急治療を代行する企業を立ち上げるために準備されています。

徳田さんによると、大熊町の医療には、高齢者の医療へのアクセスの困難さや救急対応の遅れやすさ、廃炉作業員の熱中症等による救急搬送の多さなどの課題があるといえます。

それらの課題解決に向けて、AIもどんどん活用しながら民間救急の力で町の医療の発展を促していきたいと語っていました。

そんな徳田さんは、岩手といわき市間の約400kmを頻りに往復するなど、精力的に活動。ツーリングで北海道を8日間、離島も含めて隅々まで走るほどの体力や行動力も持ち合わせています。これからの活躍に期待です！



OICはどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください！



ありがとうございます



埼玉県の「ピースフル・コンサート越谷実行委員会」さまが、チャリティーコンサートで集めた寄付金を町に義援金として寄贈してくださいました。

8月14日、代表の山本誠一郎さまが町役場を訪れ、島和広副町長に義援金を手渡ししました。ありがとうございます。

要望活動

町は機会あるごとに大臣や党中央幹部ら要人への要望を行い、町の実情に沿った支援や緊急を要する対策の実施などを求めています。詳細は町公式サイトでご確認ください。



町公式サイト

町は、双葉町と合同で土屋品子復興大臣をはじめとした政府関係省庁と自民党東日本大震災復興加速化本部に対して町の復興・再生に向けた要望活動を行いました。

7月30日、吉田淳町長と仲野剛議長らから土屋復興大臣、自民党の根本匠本部長と橘慶一郎事務局長へ要望書が手渡されました。

■政府関係省庁



土屋復興大臣（右から3人目）への要望書手交

■自民党東日本大震災復興加速化本部

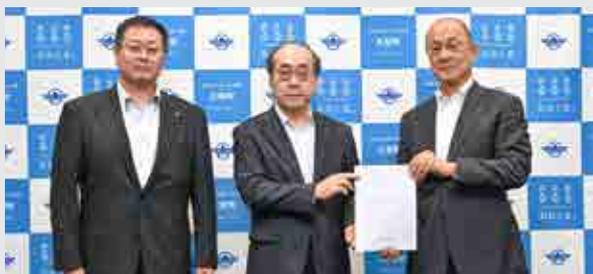


本部長（右3人目）と事務局長（左2人目）への要望書手交

<政府・自民党への要望>

- ①拠点区域外の避難指示解除に向けた取組の実施
- ②復興のスタートに立つ両町への重点的サポート
- ③福島第一原子力発電所の廃炉を担う東京電力への監督・指導
- ④中間貯蔵施設の安全管理および最終処分場等の確保

町は7月24日、原子力損害賠償紛争審査会に対し今後の審議に向けた要望を行いました。島和広副町長と仲野剛議長から内田貴会長へ要望書が手渡されました。



内田会長（右）への要望書手交

<原子力損害賠償紛争審査会への要望>

- ①適時適切な指針の見直し
- ②被害者の立場に立った誠実かつ迅速な賠償の対応
- ③A L P S 処理水の処分に関する風評被害への賠償

特定疾患患者見舞金の申請を忘れずに

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係

町は、指定難病・特定疾病患者等（未成年の場合はその保護者）に対し、特定疾患患者見舞金を支給しています。毎年度、申請が必要となりますので、忘れずに申請してください。



■基準日

毎年4月1日

※4月2日以降に受給者証等の交付を受けた場合は、交付を受けた日を基準日とする。

■対象者

基準日に大熊町に住民票があり、次のいずれかに該当する方

- ①「指定難病医療費受給者証（福島県知事発行）」所持者
 - ②「小児慢性特定疾病医療受給者証（福島県知事発行）」所持者
 - ③「特定疾病療養受療証（健康保険の保険者発行）」の所持者、または腎臓機能障がいによる慢性透析治療を受けている方で身体障がい者手帳の所持者
- ※人工透析、血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ因子障がいまたは先天性血液凝固第Ⅸ因子障がい「血友病」、血液凝固因子製剤の投与に起因する抗ウイルス薬を投与している後天性免疫不全症候群で受療中の方

■支給額 2万円（年度額）

■申請方法

「特定疾患患者見舞金受給資格認定申請書」に必要書類を添付して健康保険課まで提出してください。
※町のホームページから印刷・ダウンロードできません。郵送をご希望の方は健康保険課にご連絡ください。

■必要書類

対象者①～③に該当することが分かる受給者証・受療証または手帳のコピー
※有効期限が切れていないものに限りま。

■振込口座

新規で申請する場合は振込先口座を記入してください。継続して申請する場合は昨年同様の口座に振り込みます。

■申請期限（令和6年度分）

令和7年2月28日（金）まで
（窓口は土日祝日を除く。）

10月から児童手当制度が一部変更されます

問 大熊町役場 福祉課 子育て支援係

こども家庭庁
ホームページ

■所得制限の撤廃

上限として設けられていた所得制限上限額と所得上限限度額が撤廃となり、所得の額にかかわらず対象児童全員に支給されます。

■支給対象児童の範囲を拡大（高校生年代まで延長）

中学生までとされていた支給対象児童の範囲が拡大され、18歳到達後最初の年度末（高校生年代）までの支給に変更されます。

■第3子以降の支給額の増額および第3子以降のカウント方法の変更

第3子以降の支給額が30,000円/月へ増額

第3子以降のカウント方法について、これまで高校生年代の児童から第1子としてカウントしていましたが、今後は22歳に到達して年度末までの子ども（大学生年代）からカウントする方法に変更されます。（養育している場合に限る）

■支給回数の変更（年3回から年6回（偶数月）へ）

支給月が年3回から年6回へ変更となり支給回数が増加

なお、制度拡充後の初回支給は12月です。（10月・11月分）

※10月の定額支給（6月～9月分）は従来額ですご注意ください。

制度改正に伴う手続きについて

次に該当する方には申請書等を8月下旬から発送しています。お手元に届かない方はご連絡ください。

※1～4に該当しない方は手続き不要です。

1. 所得超過により児童手当・特例給付の受給対象外となっている方
2. 高校生年代の児童のみを養育している方
3. 現在児童手当を受給していて、算定児童に登録されていない高校生年代の児童を養育している方
4. 大学生年代の兄弟を含めて、第3子となる児童手当の対象児童がいる方

下野上地区の宅地分譲を始めます

問 大熊町役場 生活支援課 移住定住支援係



町は、下野上地区原住宅エリアにおいて、全町民を対象に宅地分譲の募集を実施します。

次の日程で現地見学会と申し込みを実施します。分譲地に関する詳細な説明や各種相談も承ります。

資料のご希望の方は生活支援課までご連絡ください。

なお、今秋以降に大野南エリアの宅地分譲を実施予定です。詳細が決まり次第、改めてご案内します。

- 時 ① 10月4日(金)、② 10月5日(土)、
③ 10月18日(金)、④ 10月19日(土)、
⑤ 10月20日(日)

いずれも午前10時～午後4時

場 原住宅地分譲現地案内所(原住宅コミュニティスペース)

※現地申込・見学会は予約不要です。上記日時に会場へ直接お越しください。

■郵便申込期間

10月4日(金)～10月11日(金)
消印有効

※郵送での申し込みを希望される方は、資料を郵送しますので、生活支援課へご連絡ください。



令和6年度 大熊町海外派遣事業

「おおくま希望の翼」の参加者を募集します



姉妹都市オーストラリア・バサースト市での語学研修と国際交流を中心とした人材育成を目的に「おおくま希望の翼」に参加する生徒・学生を募集します。

■派遣日程 日本の春休み期間（令和7年3月22日～3月30日）の9日間（予定）

第1日	3月22日(土)	大熊町役場中通り連絡事務所から羽田空港へ移動、夜の便で出国(機内泊)
第2日	3月23日(日)	シドニー空港からバサースト市へ移動・ホームステイ
第3日	3月24日(月)	現地高校で英語研修・午後は市内見学。バサースト市役所にて歓迎会
第4日	3月25日(火)	現地高校で英語研修
第5日	3月26日(水)	現地高校で英語研修
第6日	3月27日(木)	現地高校で英語研修
第7日	3月28日(金)	バサースト出発。世界遺産ブルーマウンテンと動物園見学（シドニー泊）
第8日	3月29日(土)	市内見学（オペラハウス等）・帰国
第9日	3月30日(日)	羽田空港到着・大熊町役場中通り連絡事務所にて解散

※姉妹都市の受け入れ体制や航空便の都合で日程が変更となる場合があります。

※2～7日目はホームステイ先での滞在となり、通訳等は同行しません。なお、ホームステイは3人1組または2人1組での宿泊になります。

■派遣予定人数

20人以内（希望者が5人未満の場合は事業中止）

■応募資格要件

大熊町に住民登録がある中学生から高校生までの生徒・学生で、次の要件のすべてを満たす方

- ・応募時点で、大熊町に5年以上住民登録のある生徒、または現在大熊町に住民登録があり、かつ大熊町立学び舎ゆめの森に在学している。
- ・明確な研修参加目的を持ち、健康で適応性と積極性がある。
- ・日常のあいさつ等基本的な英会話ができる。
- ・日常の簡単な家事ができ、極端な偏食がない。
- ・保護者の承諾と学校長の推薦が得られる。
- ・すべての事前研修と出発式・到着式に参加できる。

■参加負担金

- ・過去に本人や家族が町の海外派遣事業に参加
90,000円以内
- ・家族も含め町の海外派遣事業に初参加
60,000円以内

■参加条件

- ・町役場本庁舎で実施する研修にすべて参加する。
 - ①12月7日（土）
第1回研修（事業説明・渡航手続き）※保護者同伴
 - ②令和7年2月8日（土）
第2回研修、結団式（各種手続き・テーマ研修・渡航日程と内容確認）※保護者同伴
- ・旅券や保険等の渡航に要する手続き・費用を負担できる。
- ・バサースト市で、受け入れ家庭と学校の指示に従って行動する。
- ・事業における病気・事故・損害弁償等の費用を負担できる。

■申込方法・必要書類

申込書を町ホームページからダウンロードしていただくか、電話で参加希望を受け付け後、個別に送付します。期間内に次の必要書類を提出してください。

- ・申込書（様式Ⅰ）
- ・学校長の推薦書（様式Ⅱ 開封厳禁）
- ・保護者の承諾書（様式Ⅲ）
- ・誓約書（様式Ⅳ）
- ・希望者本人の住民票
- ・その他町が指定する必要書類
- ・作文：テーマ「オーストラリア研修への希望と夢」（原稿用紙2枚/800文字以上、手書き、word等での作成は問わない。）とします。原稿用紙はご自身でご準備ください。

■派遣者の選考

応募締切後に書類審査を行い（10月中旬予定）、派遣内定者に通知書を送付します。

内定は、姉妹都市での受け入れ先（語学研修センターとホームステイ）が決まった段階で決定します。

■募集期間

9月1日（日）～9月30日（月）
※郵送の場合9月30日消印有効

問 大熊町教育委員会 生涯学習課

☎ 0240-23-7194

FAX 0240-23-7846

✉ shogaigakusyu@town.okuma.fukushima.jp

9/14 (土)、15 (日) 自転車ロードレース開催に伴う交通規制の一部変更について

問 福島復興サイクルロードレースシリーズ事務局 (みんぼうスポーツ・文化コミッション)
☎024-531-4171 (平日午前10時～午後5時)



9月14、15日の両日、福島民報社主催の自転車ロードレース大会「ツール・ド・ふくしま2024」が開催されます。これに伴い、大熊町内では、次の時間帯で交通規制が実施されます。交通規制は、レース隊列の最後尾が通過後に順次解除していきます。皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

交通規制日時、場所

- 9月14日(土)
 - 午後2時20分～3時20分頃 (予定)
 - 国道6号線 (大熊町区間 全面通行止め)
- 9月15日(日)
 - 午前10時45分～11時30分頃 (予定)
 - 大熊町役場～町道東67号～県道35号 (富岡町方面 全面通行止め)

※8月1日号のお知らせから、交通規制時刻および富岡町内のルートに一部変更がありました。



自転車ロードレースに伴い生活循環バスが運休します

問 大熊町役場 生活支援課 生活支援係

9月14日、15日にツールドふくしまが開催されるため、交通規制が実施されます。それに伴い生活循環バスの一部を運休にします。ご注意ください。

時 9月15日(日)

運休になる便

- 大川原公営住宅発→大野駅西口着
 - ・第5便 (10時47分発～11時着)
- 大野駅西口発→大川原公営住宅着
 - ・第4便 (10時29分発～10時43分着)
 - ・第5便 (11時15分発～11時29分着)

○大川原公営住宅発→富岡駅前着

- ・第2便 (9時37分発～10時着)
- ・第3便 (10時45分発～11時8分着)

○富岡駅前発→大川原公営住宅着

- ・第1便 (8時40分発～9時3分着)
- ・第2便 (10時15分発～10時38分着)
- ・第3便 (11時15分発～11時38分着)

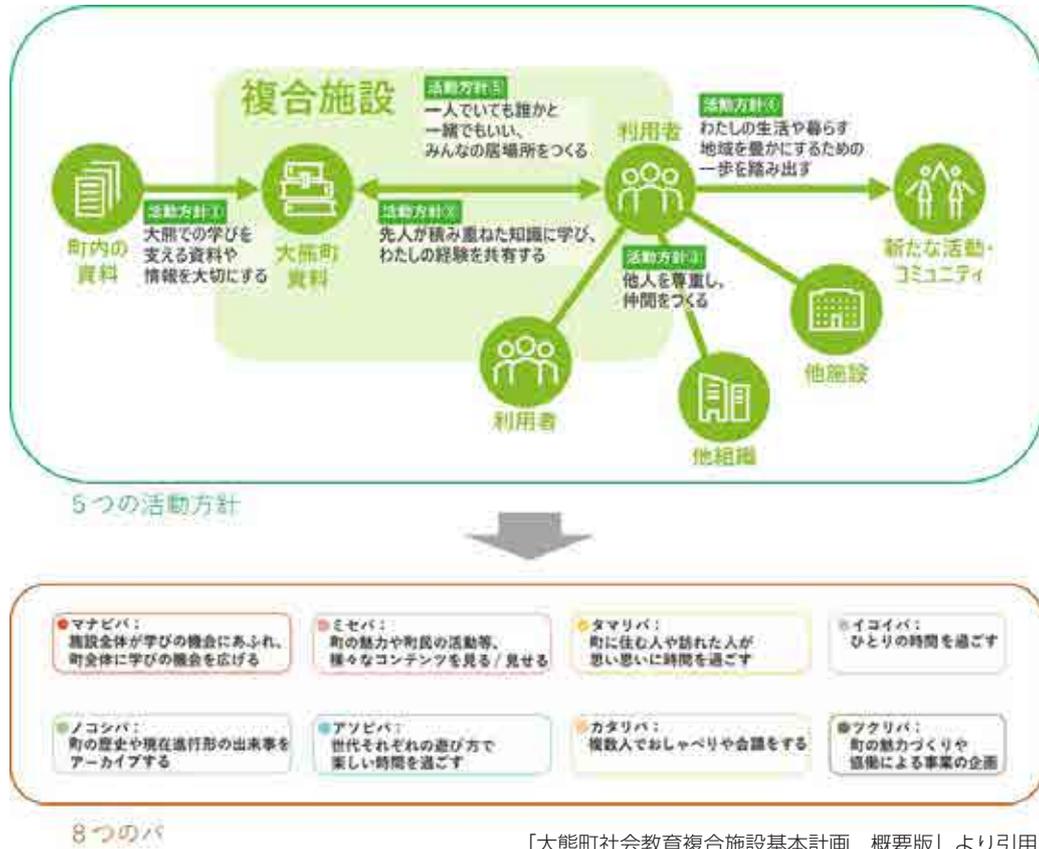


大熊町社会教育複合施設の基本計画を公表しました



問 大熊町役場 生涯学習課

町は、令和9年度にJR大野駅西口に整備予定の社会教育複合施設の基本計画を公表しました。計画では、基本構想の5つの活動方針が「8つのバ」として展開するイメージを提示しています。詳細は町HPをご覧ください。



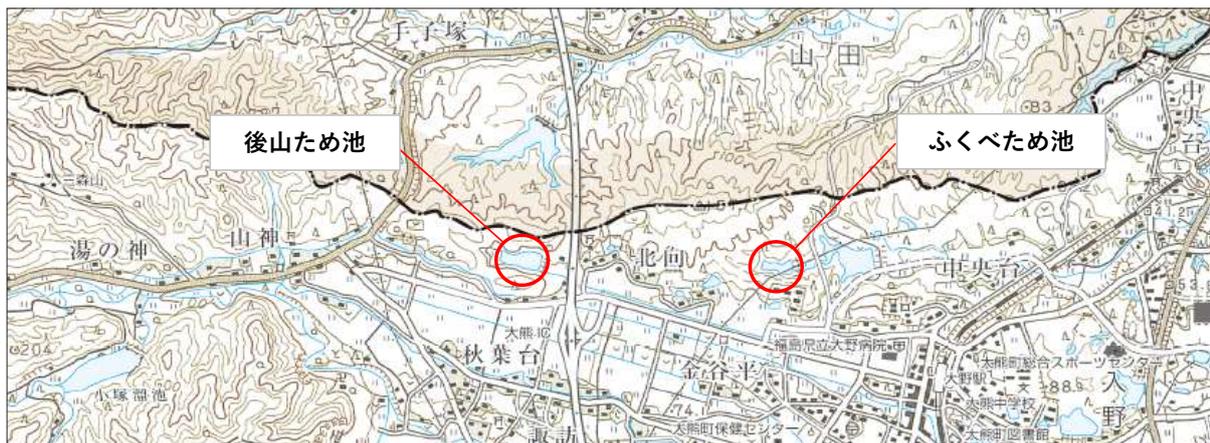
「大熊町社会教育複合施設基本計画 概要版」より引用

ため池の災害復旧工事を実施しています

問 大熊町役場 農業振興課

東日本大震災で壊れた後山ため池とふくべため池の災害復旧工事を実施します。工事では、堤体（土手）の壊れた部分を掘削し盛り直し、崩れたブロックを直します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■工事箇所図

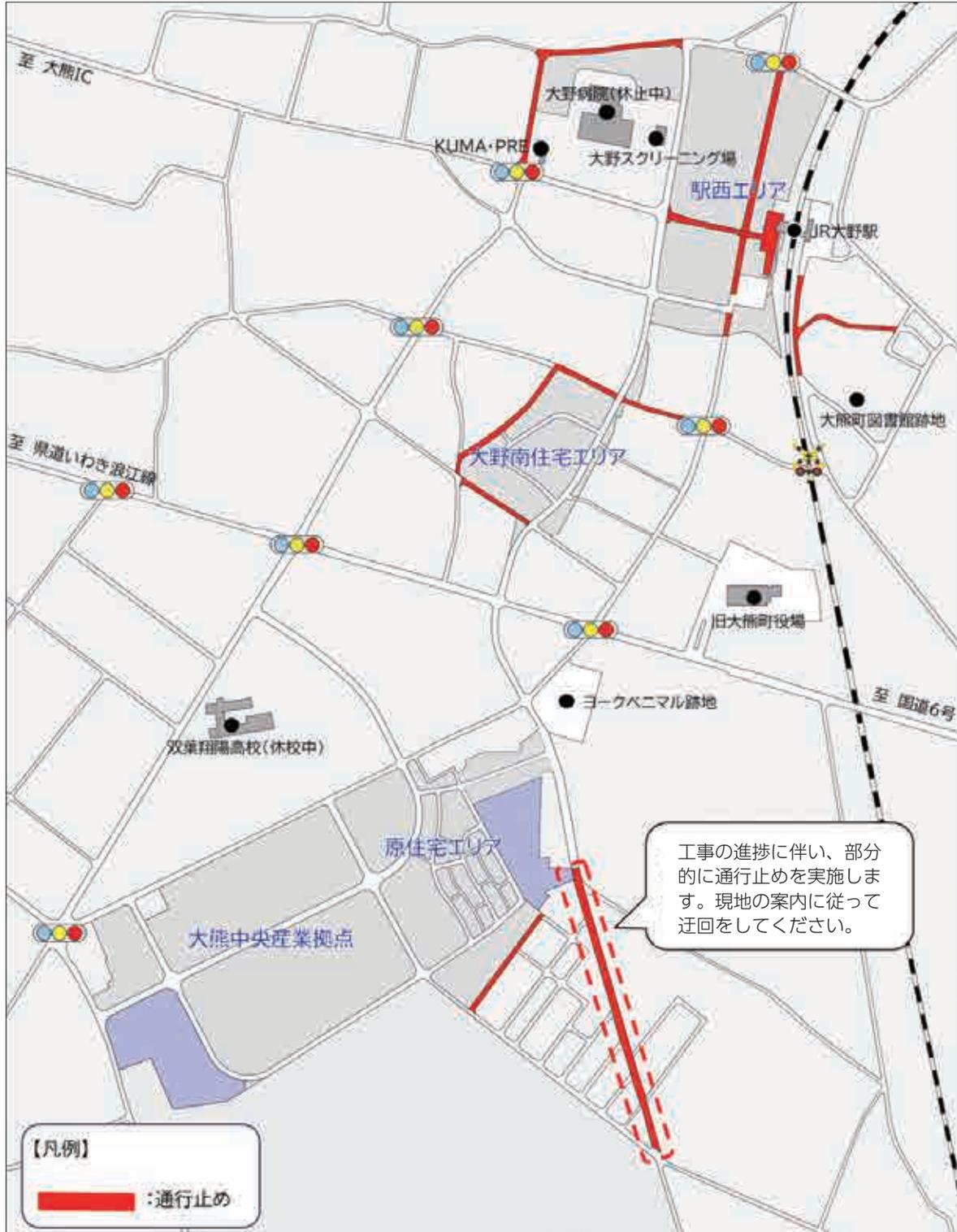


基盤整備工事に伴う通行止め箇所について（9月）

問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部 大熊復興支援事務所
 ☎ 0 2 4 6 - 3 8 - 8 1 2 7
 大熊町役場 復興事業課 建設係

下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の道路等基盤整備工事のため通行止めを行っています。通行の際は、現地の案内に従って通行してください。ご協力をお願いします。

■ 9月の通行止め箇所図



民泊の実証実験を開始しました

問 バトン（業務受託者）
大熊町役場 企画調整課

泊まってみないとわからない大熊町の魅力や、さまざまな“人”で大熊町が活性化することを目指し、もっと大熊町に滞在して欲しい、もっと大熊町を体感して知って欲しい、そんな思いから、町内の賃貸を活用して民泊の実証実験をはじめました。1泊でも少し長い滞在でも、1人でも友人や家族とでも、“暮らすような滞在”が実現できる、そんなお部屋になっています。一時帰宅や町内の視察の際にも宿泊可能です。ぜひご利用ください。

■料 金

- ・スタンダード 5,000円 / 部屋
- ・カルチャー 10,000円 / 部屋
- ※1部屋あたりの料金、実験のため2部屋のみ

■アクセス 常磐線 大野駅から徒歩5分

■駐 車 場 無料有り

■宿泊人数 応相談（宿泊人数の制限は設けていません。）

■申 込 宿泊5日前まで予約受付

■受付開始 8月16日（金）※宿泊開始 8月20日（火）

■実験終了 令和7年2月末

■その他

今後の町の発展のため、ご宿泊後のアンケートにご協力をお願いします。

■詳細・予約はこちらから

メール minpaku@baton.asia

☎ 050-6883-1035

（バトン・受付用）

受付 平日午前9時～午後6時



バトン民泊
案内ページ

大川原地区の地域計画策定に向けた 農業者座談会を開催します

問 大熊町役場 農業振興課 農政係

地域計画とは、地域の農業のこれからについて、地域の話し合いに基づき策定する計画です。

7月に引き続き、2回目の座談会を開催します。農業者や農地を持っている方、集落の代表者などをはじめ、前回はご参加いただけなかった方も大川原地区に縁のある方はぜひご参加ください。

時 9月25日（水）午後1時30分

場 大熊町役場2階 大会議室

申 農業振興課まで。当日の参加も可能です。

特定復興再生拠点内における 野菜の栽培について

問 大熊町役場 農業振興課 農政係

現在、特定復興再生拠点区域内における一部の野菜類の摂取・出荷制限は、自家消費であれば作付けは自由となっていますが、出荷および他者への提供を目的として栽培する場合は県へ報告が必要です。放射性物質の吸収抑制指導やモニタリング検査を受ける必要がありますので、作付けを行う際には必ず担当課へご連絡をお願いします。

■対象作物

- ・非結球性葉菜類 ホウレンソウ、コマツナなど
- ・結球性葉菜類 キャベツ、ハクサイなど
- ・アブラナ科の花蕾類 ブロッコリー、カリフラワーなど

個人番号（マイナンバー）のお知らせを送付します

問 大熊町役場 健康保険課 国保年金係

9月末に、国民健康保険被保険者の皆さんの個人番号（マイナンバー）下4桁を記載した通知を世帯主へお送りします。

マイナンバーカードを被保険者証として安心してご利用いただけるようにすることを目的としお知らせをするものです。

通知を受け取られた場合は、正しく登録されていることを確認し、ご利用ください。

今回送付する番号は、個人番号（マイナンバー）12桁の末尾4桁の番号であって、カード作成および交付時に設定した暗証番号や被保険者証番号ではありません。通知の内容でご不明な点などある場合は、お問い合わせください。

※後期高齢者医療被保険者については、令和6年度被保険者証定期更新時（7月19日発送済）に同封しています。

■オモテ



■ウラ



暗証番号や被保険者証番号ではありませんのでご注意ください。

高齢者福祉サービスをご活用ください

問大熊町役場 福祉課 福祉係



町は、高齢者の生活を支えるため、さまざまなサービスを行っています。ご利用方法等はお気軽にご相談ください。ただし、申請行為のためさかのぼって支給対象とはなりませんのでご注意ください。

在宅老人介護用品給付事業（おむつ券）

介護用品を常時必要とする在宅の高齢者に対して、介護用品費を月額 5,000 円を上限として助成します。

○利用できる方

- ・おおむね 65 歳以上で要介護 3 以上の常時介護用品を必要とする在宅高齢者。ただし、1 か月のうち 3 分の 2 以上入院・施設利用している場合は該当しません。

要介護高齢者介護慰労手当支給事業

要介護の高齢者を在宅で介護している方に介護慰労手当を支給します。介護慰労手当を支給することにより、介護者の苦労をねぎらうとともに、高齢者の扶養意識を高揚し、高齢福祉の増進を図るため、月額 10,000 円の慰労手当を支給します。

○利用できる方

- ・大熊町に 6 か月以上住所を有するおおむね 65 歳以上の在宅高齢者で、要介護 4 以上または重度認知高齢者においては要介護 3 以上かつⅢ a 以上の方を介護して生計を同じくしている方が対象となります。

※ただし、1 か月のうち 3 分の 1 以上在宅であること。

※対象となるか居宅介護支援事業所に確認します。

緊急通報システム設置事業

見守りのため、固定電話や携帯電話などの緊急通報装置を貸し出し、緊急時に適切な対応をします。

○利用できる方

- ・おおむね 65 歳以上の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者のみの世帯、一人暮らしの重度身体障がい者等

○利用料 無料（当面）・通話料金は利用者負担

○対象地域 福島県内

在宅寝たきり高齢者等の訪問理髪サービス事業

在宅の寝たきり高齢者等が衛生的かつ快適な日常生活を送れるように支援するため、理美容師の訪問による理髪サービスを行っています。

サービスの利用を希望される方は、福祉課福祉係にお問い合わせください。

○対象者

県内にお住まいの町民のうち、要介護認定において要介護 4 以上の認定を受けた寝たきり高齢者で、自力では理髪店に行けない方（同等と認められた方を含む）

○利用できる回数

2 か月に 1 回（年度内 6 回まで）

○利用方法

- ①事前に町へ申請して利用券（4,000 円）の交付を受ける。
- ②訪問理美容サービスを実施している事業所等に予約して、自宅でサービスを受ける。



大熊町認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

高齢者で、認知症により徘徊する行動がある場合、家族等の同意を得て大熊町認知症高齢者等個人賠償責任保険に加入することができます。認知症の高齢者が徘徊して行方不明等の事故で賠償責任保険が発生した場合に対応するものです。

秋の KUMA・PRE イベント情報

KUMA・PRE では、この秋も多くのイベントを開催し大熊町を盛り上げます！

問 KUMA・PRE ☎050-6861-7510
(火・木・金・土 午前10時～午後4時)

くまカラ 2024 (キッチンカー)

ここでしか味わえない一度は食べたいものばかり。おいしい夜ごはんとドリンク（アルコール含む）をキッチンカーで提供する「くまカラ」が帰ってきます！

今回出店いただくのは、大熊町に事業所を構えるキッチンカー事業者 POP-UP さんです。

時 9月19日(木)、20日(金)、26日(木)、27日(金)、
10月3日(木)、4日(金)

各日午後5時～9時(ラストオーダー 午後8時30分)

場 KUMA・PRE (大熊町下野上字大野 98-1)

【くまカラとは】

2022年11月から始まった、キッチンカーを使って期間限定で出店する「食」のチャレンジショップです。「大熊町 & KUMA・PRE の“くま”」と「ここ『カラ』始める & カラフル(個性多様性)等の“カラ”」を組み合わせています。

おおくまミニ商店祭

前回の7月開催でも好評だった、かつて町内で営業されていた飲食店等が出店するブースや大野駅西交流エリアの広場をイメージした人工芝ゾーン、体験型イベントを予定しています。

時 10月12日(土) 午前11時～午後4時

場 KUMA・PRE (大熊町下野上字大野 98-1)

内 飲食ブース、ワークショップ、フリマ など

費 入場無料(食事など一部有料)

詳細が決まりましたら、SNS やチラシ等で発信していきます。

最新情報は大熊町情報 note をチェック！

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。
※内容は変更になる場合がございます。



文科省 ADR センター (原子力損害賠償紛争解決センター) を ご存知ですか？

夜間臨時開所と遠隔対応について

ADR センターは、**原発事故による東京電力への損害賠償請求**について、和解仲介を行っています。

来年1月まで毎月1回、福島事務所の夜間臨時開所を実施し、特別に弁護士資格を有するADRセンターの専門家が個別に対応を行い、その場で賠償請求のための申立書を作成できます。



福島事務所での対面の他、**電話やオンラインでの利用が可能**ですので、この機会に是非ご利用ください。



開催日 9/4・10/2・11/6・12/4・1/8

予約電話番号 024-941-0164
(予約電話受付 平日午前10時～午後4時)



利用方法

問 原子力損害賠償紛争解決センター
☎0120-377-155

(年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

大熊町文化展の作品募集！

問 大熊町役場 生涯学習課 社会教育係

大熊町文化展を10月28日(月)から11月2日(土)まで大熊町役場で開催します。作品募集の詳細は、生涯学習課、各出張所、連絡事務所の窓口または町ホームページでご覧いただけます。

出展作品は例年と同じく、工芸(手芸・陶芸等)、絵画、書道、文芸、写真など種類は問いませんが、高価で盗難や破損の恐れがあるものについては出展をお控えください。多くの方の作品の出展をお待ちしています。

時 10月28日(月)～11月2日(土)

場 大熊町役場 1階多目的ホール

■作品持込期間

10月9日(水)～16日(水)

■作品持込場所

大熊町役場、会津若松出張所、いわき出張所、中通り連絡事務所

■作品返却期間 11月11日(月)～15日(金)

※午前9時から午後5時まで持込場所まで返却



屋根・窓の養生をご希望の方へ

問 大熊町役場 復興事業課 建設係

町内の家屋の屋根・窓・扉の養生を行います。過去に養生したシートの再養生も受け付けています。雨漏り、動物の侵入等でお困りの方はご連絡ください。なお、施工の有無・時期は町で決定します。

■対象地域 帰還困難区域内

※家屋解体が決まっている方は施工ができません。

福島広域雇用促進支援協議会から

問 福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口

☎ 024-524-2121 WEB 「働きたいネット」で検索

働きたいネットの「ふくしまで働こう@企業説明会」

内 お仕事を探している人集合！ 福島県の企業が集結！ 仕事の内容、職場環境など気軽に情報収集できます。お仕事相談や移住説明も有り！

時 9月12日(木) 午後1時～3時30分

場 ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目52番地)

申 電話、ホームページから予約、または当日参加。予約をオススメしております。



行くしかない!! 働きたいネットの就職面接会

【参加無料・履歴書不要・服装自由】

内 面接会は就職への近道♪求人票には載っていない魅力が聞ける!

★応募書類キットのプレゼント

時 9月27日(金) 午後1時30分～3時

場 link る大熊(大熊町大川原字南平1207-1)

申 電話、ホームページから予約、または当日参加。予約をオススメしております。



まなび舎Jヴィレッジの参加者を募集します

問 まなび舎Jヴィレッジ事務局
(プランニングネットワーク内)

☎ 03-3810-9381



こころとからだの健康習慣を楽しく身につけるための4つの講座を開催します。

今年のテーマは「シニアのためのライフハビット」。健康のための習慣をJヴィレッジで楽しく学びましょう!



第6回おおくまふるさと塾

「町内古跡めぐり」を開催します

問 大熊町役場 生涯学習課 社会教育係

生涯学習団体「おおくまふるさと塾」では定期的に町内の歴史や文化を知れる場を散策し、多くの方々に大熊の魅力を感じてもらうイベントを開催します。6回目の今回は熊川地区周辺を回る予定です。

時 10月12日(土) 午前10時～午後3時(予定)

※昼食各自持参

場 熊川地区

※中間貯蔵工事情報センター集合
(大熊町大字小入野字向畑256)

定 10人程度

期 9月25日(水)

申 必要

※毎月第2土曜日を目安に開催を予定しています。

高齢者大学を再開します

問 大熊町教育委員会 生涯学習課

震災前に実施していた高齢者大学(もみの木大学)をニューもみの木大学として13年ぶりに開校します。

時 10月3日(木) 午前9時～正午

場 学び舎 ゆめの森

内 第1回:開校式、eスポーツに挑戦

第2回:議会傍聴他ほか(12月上旬)

第3回:高齢者交通教室(1月下旬)

第4回:料理教室(2月下旬)を予定しています。

対 大熊町に住み票がある65歳以上の男女で、年間を通して参加できる方

定 15人程度

申 必要。電話で生涯学習課まで。

お済みですか? 原子力損害の賠償請求

問 原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)

☎ 0120-330-540(予約専用・通話無料)

(祝休日を除く月～土 午前9時30分～午後5時)

原子力損害賠償に関するお悩み、お困りごとを、弁護士に相談してみませんか。

追加賠償請求書の書き方でお困りの方には、対面で作成をお手伝いします。

相談会の開催日時・場所など、詳しくはホームページをご確認ください。

弁護士相談、請求書作成支援をご希望の方は、お電話で事前予約をお願いします。



NDF
ホームページ

福島地方環境事務所からのお知らせ

特定帰還居住区域の被災家屋等解体申請を受け付けています

特定帰還居住区域（下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部）およびその周辺に位置する家屋等の解体の申請を受け付けています。

解体を希望される方、所有建物の住所が区域範囲内か確認したい方は解体申請受付窓口にお問い合わせください。

※環境省が除染した家屋等は解体の対象になりません。解体を希望・検討している方は除染工事を行わないでください。

■解体申請受付窓口（環境省業務委託業者）

高島テクノロジーセンター
（いわき市好間町上好間山下6-1）

☎ 0120-700-908
（平日午前8時30分～午後5時15分）

特定帰還居住区域のごみの個別回収を受け付けています

特定帰還居住区域（下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部）に住居がある方を対象に、粗大ごみ等の個別回収の申し込みを受け付けています。

また、住居内の片付け等に当たり、東京電力による片付けごみサポート等も実施しています。これらをご希望の方はお申し込みください。

なお、粗大ごみ等の個別回収の際にフレコンバックが必要となる場合は、お申し込みの際にお知らせください。

■申し込み窓口

大熊町片付けごみサポートセンター
（環境省業務委託業者）

☎ 0120-50-8832
（平日午前9時～午後5時）

問 福島地方環境事務所 浜通り南支所
（廃棄物担当）

☎ 0240-25-8993
（平日午前8時30分～午後5時15分）

除染作業事前調査の実施について

環境省は、特定復興再生拠点区域内と特定帰還居住区域内の除染工事を進めています。除染等工事に必要となる事前調査等業務に伴い、対象となる方にはご案内を送付しています。

関係する皆さまの所有する敷地内への調査・立ち入りをさせていただくことにご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査業務に当たって住居等の建物内へ立ち入ることはありません。敷地内の調査を望まれない方は、その旨ご連絡ください。

問 日本エヌ・ユー・エス
（環境省業務受託業者）

☎ 0120-395-080（平日
午前8時30分～午後5時15分）

中間貯蔵施設の見学会を開催しています

中間貯蔵工事情報センターは、中間貯蔵施設工事の進捗を紹介するバス見学会を月2回実施しています。

内 情報センターでの説明、バスからの区域内見学

時 9月20日（金）・21日（土）

場 中間貯蔵工事情報センター（大熊町小入野字向畑256）

問 中間貯蔵工事情報センター

☎ 0240-25-8377

当情報センターは、中間貯蔵施設工事（除去土壌等輸送や施設整備工事）について、概要や工事の進捗状況、安全への取り組み等を紹介しているほか、一時立ち入りの際のトイレ利用もできますので、お気軽にお立ち寄りください。

※9月14日（土）～9月23日（月・振替休日）までの期間は、輸送を休止します。

移住定住をサポート！ おおくまチャレンジ応援プログラム受け付け中！

問 大熊町移住定住支援センター
☎0240-23-7103

町移住定住支援センターの 最新情報はこちら▶



- 写真ワークショップ 9月21日(土)
- おおくまチャレンジ応援プログラム
- くまジョブ

不動産利活用、地域コミュニティをサポート！ 特産品「帰忘郷」販売中！

問 おおくままちづくり公社
☎0240-23-7101
(平日午前9時～午後5時)

おおくままちづくり公社の 最新情報はこちら▶



- 大熊町復興支援員募集中！
プレイヤーとして町に参加し課題に挑戦することを楽しめる方を募集しています。
- 不動産利活用登録募集中
- okuma store(EC サイト)

おおくままち観光協会

問 大熊町観光協会事務局 (おおくままちづくり公社)
☎0240-23-7101 (平日午前9時～午後5時)

- ふるさとまつりの出店者を募集します

・ブース出展(観光協会加入)

申し込みはQRコードから

・マルシェ出店(飲食店不可・1区画1,000円)

ご希望の方は、住所、名前、電話番号、出店内容を記載のうえ、次のメールアドレスまで申し込みください。

申 okuma@taisei-pro.net

期 9月20日(金)まで

- 大熊今昔フォトコンテスト開催

大熊町の今や昔の歴史、文化、風景など大熊町に関する作品をどしどしご応募ください。

応募をご希望の方は住所、名前、電話番号、出店内容を記載のうえ、次のメールアドレスまで申し込みください。

申 okuma@taisei-pro.net

期 10月4日(金)まで



消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎0240-22-2119

9月9日は救急の日

救急の日とは、救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、救急の日を含む1週間(日曜日から土曜日まで)を救急医療週間としています。万が一に備え、皆さんも救急車の正しい利用方法や応急手当について考えてみませんか。

救急車の要請で迷ったときは

急な病気やケガをしたときに救急車を呼ぼうかどうか、迷うことはありませんか？

突然の重い病気やひどいケガなど、緊急性が高いときは、すぐに救急車の要請が必要です。

- 緊急性の高い症状かどうか自分で判断できない。
- 救急車を呼ぶほどではないけど受診/相談したい。

そんなときは、#7119に電話すると受診や救急車要請に対して、24時間365日看護師から助言を受けることができます。判断に迷ったときにはぜひご利用ください。

応急手当を身に付けましょう

特別な資格がなくても、誰にでも行えるのが応急手当です。万が一に備えて、適切な応急手当を学び日頃から身に付けておきましょう。

消防署では、個人・団体問わず応急手当講習を開催しております。お気軽に近くの消防署にお問い合わせください。

ニホンザル対策状況調査作業員が 町内を巡回します

問 福島県自然保護課

☎024-521-7210

問 野生動物保護管理事務所

☎042-649-1385

福島県は「令和6年度特定復興再生拠点解除区域におけるニホンザル広域対策事業」を実施します。

期間中は県から委託された作業員が、ニホンザルの出没地域を巡回し、出没や被害に関する情報の聞き取り調査を行います。ニホンザルによる被害防止・問題解決に向け、当事業に対するご理解とご協力をお願いします。

調査員は名札と腕章を身に付けており、調査車両には「野生動物調査中」のステッカーが貼ってあります。

■調査実施期間 9月中旬(予定)

教えて 放射性物質

何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家
の皆さんが解説します。



柏崎佑哉
(公認心理師)



松永妃都美
(保健師)



折田真紀子
(保健師)



肖旭
(公衆衛生)

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

東京電力福島第一原発から出る処理水の海洋放出が始まってから1年が経ち、令和6年7月までに累計で54,734立方メートル(5473万4,000リットル)の処理水が放出されました。これはおよそ25mプール100杯分ほどの量にあたります。汚染水の発生をなるべく抑える対策によって、汚染水の発生量は一日あたり約540立方メートルから140立方メートル程度まで低減されていますが、それでも日々発生することを考えると、すべての処理水を放出完了するにはまだまだ時間がかかりそうです。

処理水は、国が定める規制基準である1リットルあたり60,000ベクレル(Bq)の40分の1にあたる、1,500Bq/Lまで海水で薄めて放出されています。長崎大学が大熊町の住民の方に実施したアンケートでは、処理水放出による海の生態系に対する影響を懸念する方が多いという結果が得られました。処理水に含まれるトリチウムはもともと自然界にも存在する放射性物質であり、主に宇宙から注がれる放射線(中性子線)によって生成されます。海水にも1リットルあたり0.1から1Bqほど含まれていて、放出によって福島第一原発付近のトリチウム濃度が高まったとしても、1~2Bq/L程度にとどまるとされています。実際、福島県や環境省といったさまざまな機関が海域調査を行っていますが、日本全国の海

水に含まれるトリチウム濃度と比較して明らかな濃度の変化は認められていません。また、トリチウム水はほぼ水と同じ性質を持っていることから、トリチウム水だけが生物の体内に蓄積されるということはありません。私たち日本人は自然の放射線によって1年間で2.1ミリシーベルト程度の被ばくを受けていますが、処理水を放出した場合の1年間の人への影響は、自然放射線被ばくの10万分の1程度と試算されています。

1年間の放射線の影響



出典：経済産業省「みんなで知ろう。考えよう。ALPS 処理水のこと」
参照：TEPCO 処理水ポータルサイト、環境省 ALPS 処理水に係る
海域モニタリング情報

長崎大学では、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課(☎0240-23-7419)を通じてお気軽にお問い合わせください。

町内の空間放射線量

(令和6年8月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は、避難指示が解除された区域に設置されている機器を抜粋して掲載したものです。

町内全体のデータは町環境測定サイネージでご確認ください。

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設	0.09
大熊町役場	0.09
福島給食センター	0.15
やすらぎ霊園	0.09
野上二区地区集会所	0.33*
インキュベーションセンター (旧大野小学校)	0.13
大熊町保健センター	0.30
大野駅	0.18

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)
大熊町文化センター	0.40
旭台公園	0.33
熊一区地区集会所	0.26
大和久区地区集会所	0.33
町区集落センター	0.49
参考	
いわき市役所	0.07
郡山市役所	0.07
会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

*機器調整中のため直近の計測データを記載しています(5月29日午前11時10分時点)



一時立ち入りのお知らせ



スケジュール

☎ 0120(220)788

■ 住民一時立ち入り

☎ 0120(511)157

■ 個人線量計の貸出
問 原子力安全研究協会

☎ 0240(25)5341

■ 水の放射能濃度測定
問 双葉地方水道企業団
施設課浄水係

☎ 0240(23)6472

■ 食品の放射性物質測定
問 双葉農業普及所

☎ 0240(25)8993

■ 土地の放射線測定
問 福島地方環境事務所
浜通り南支所(除染担当)

☎ 0240(25)8993

■ 放射線・除染等に関するお問い合わせはこちらから

問 大熊町役場 健康保険課

放射線物質によるお体への疑問・お悩みをお持ちの方は相談窓口にご相談ください。

教えて いきいきライフ



9月は世界アルツハイマー月間、9月21日は世界アルツハイマーデーです

知りたい！認知症⑥

Q. 認知症の予防ってどうしたらいいの？

A. 認知症の多くを占めるアルツハイマー型認知症や血管性認知症は、生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）との関連があるとされています。例えば、バランスの良い食事を心掛けたり、定期的な運動習慣を身に付けたりと、普段からの生活管理が認知症のリスクを下げると思われています。認知症の早期診断・早期治療につなげるために、自分自身や家族・同僚、友人など周りの人について「もしかして認知症では」と思われる症状に気づいたら、一人で悩まず専門家などに相談しましょう。

日常生活管理が大切なんだね



これどんな介護サービス？ ～地域密着型通所介護～

住み慣れた地域での生活を支えるため地域密着型通所介護の施設（利用定員 19 人未満のデイサービスセンターなど）に通うことで、その地域の特性に合った日常生活上の支援、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰り提供します。施設は利用者の自宅から施設までの送迎も行います。

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」はこちらから▶



人生会議は、ご本人、家族など信頼できる人、医療・ケアチームでの話し合いを通じて、ご本人の価値観を今後の医療・ケアに反映させることが大きな目的となります。

健康教室 太極拳【最終回】

内 太極拳

時 9月18日（水）

午前10時～11時30分

定 20人

持 運動できる動きやすい服装
飲み物、上履き（はだしでも可）

場 大熊町保健センター

（大熊町下野上字金谷平565）

申 大熊町役場 福祉課 介護保険係



〈成年後見制度〉

成年後見人などは何をしてくれるの？

- ・福祉サービス・介護の手続きや契約のお手伝い
 - ・保険料や税金の支払やお金の出し入れのお手伝い
 - ・よくわからずにした契約の取り消し
- などありますが、障がいや認知症の程度によって、お手伝いしてもらえることは変わります。

問 大熊町包括支援センター

☎ 0240-23-7238



フレイル予防

—できるだけ外出や交流をしよう—（つながるフレイル予防）

地域に出て人とつながり、生きがいや楽しみ、目標などを持ち続けることが予防になります。趣味の集まりやボランティア活動、スポーツ、友人とのおしゃべり、仕事など、外と関わる機会をたくさん持ちましょう。家庭の中で役割をもって暮らすことも社会参加の一つです！

教えて ヘルシーライフ

◆◆◆ 年に一度の総合健診が始まります ◆◆◆

「どこも悪くないから健診は受けなくても大丈夫」、「医療機関にかかっているから健診は必要ない」という方にも受診をおすすめします。

健診の意向調査を出し忘れた方、受診したいけれど予約をしていない方は健康保険課保健衛生係までご連絡ください。



◆◆◆ どうして毎年健診を受けた方がいいの？ ◆◆◆

① 病気の芽を見つける。

糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、かなり病状が進行するまで自覚症状がありません。健診は普段は見えない体の変化や病気の芽に気づききっかけになります。



② 毎年の変化を確認する。

引っ越しや転職などのライフイベントやストレス、加齢によって体の状態はさまざまに変化します。体の機能の弱ったところを早期に見つけることで、早い段階で治療することができます。

③ 病院では検査していない項目も調べることができる。



普段の通院で受けている部分的な検査とは異なり、体全体のメンテナンスをするのが健診です。今まで気づいていなかった他の生活習慣病や心臓、血管の変化を早期に発見することができます。

◆◆◆ 令和6年度の健診のポイント ◆◆◆

① 健康診断受診カードが送付されます。

今まで送付していた健診受診録に代わり、「健康診断受診カード」が送付されます。

問診は健診当日、タブレットで回答を入力していただくようになります。入力の際にはスタッフがお手伝いしますので、ご安心ください。

② いわき市・会津若松市・郡山市では乳がん検診が同時に受診できます。

今年度中に偶数年齢に達する女性の方は、総合健診会場で乳がん検診を受けることができます。

③ 男性も骨粗しょう症検診を受けることができます。

今年度は全ての総合健診会場で骨粗しょう症検診を男性・女性ともに受診できます。

管理栄養士のヘルシーレシピ

下味にカレー粉を使った、お塩ひかえめのピカタです。カレー粉やこしょう、七味、山椒などのスパイスを使って料理に香りや辛みをプラスすると、減塩でもおいしく食べられます。

■ 材料 (4人分) ■

鶏むね肉 (皮なし) …… 300g
塩 …… 小さじ 2/3
こしょう …… 少々
カレー粉 …… 小さじ 2
薄力粉 …… 適量
卵 …… 2個
サラダ油 …… 大さじ 2
ケチャップ …… お好みで

■ つくり方 ■

1. 鶏むね肉はそぎ切りにして、厚さを均等にする。
2. 1. の鶏むね肉をポリ袋に入れ、塩、こしょう、カレー粉を入れてまんべんなくもみ込む。
3. 2. に薄力粉を加えて振り、全体にまぶす。ボウルに卵を溶き、鶏むね肉をくぐらせる。
4. フライパンにサラダ油を熱し、3. を両面火が通るまで焼く。

◆ 鶏むね肉の カレー風味ピカタ

【1人分 エネルギー167kcal
たんぱく質 20.5g 脂質 10.0g
食塩0.9g】



❀ お知らせ ❀

大熊町は、地域にお住まいの皆さんの健康支援のため、町の保健師・看護師・管理栄養士等の専門職が家庭訪問等する場合があります。

また、町が依頼し、各保健福祉事務所の看護職等にご協力いただき、電話や訪問での健康面の確認をさせていただきます。

電話連絡や訪問等がありましたら、ご理解とご協力をお願いします。



母子健康手帳交付希望の皆さまへ ご妊娠おめでとうございます



大熊町子育てサポートセンター**おおくまっこ**は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をします
ので本庁舎・各出張所にご連絡ください。

保 【花王×大熊町】 歩行力改善プログラム測定会

花王が開発した専用歩行計「ホコタッチ」を使った歩き方の測定会です。あなたの「歩き方」を最新技術で徹底解析してみませんか？

①時 9月26日(木)

場 大熊町役場 いわき出張所

②時 9月27日(金)

場 大熊町役場 本庁舎

《共通》

対 大熊町民の方

申 必要。1週間前まで

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係 (担当: 林・夏目)

❀ 保健センター開放日のお知らせ ❀

赤ちゃんから高齢者まで、さまざまな年代の方が集う場として、保健センターを開放します。お散歩の途中などでもお気軽にお立ち寄りください。

時 9月18日(水)、10月23日(水)

午前9時～午後4時

場 大熊町保健センター(下野上字金谷平 565)

※保健センター前に生活循環バスが停車します

※お茶コーナーやおもちゃや絵本、卓球台、健康に関する情報を設置しています。健康相談・栄養相談もできます。

■特別企画

★9月18日(水)

・午前10時～11時30分「太極拳」

詳細は21ページをご確認ください。

・午後2時～3時「ママカフェ」

お子さんと一緒に、ママだけでもOKです！

★10月23日(水)

・午前10時～11時「ハンドマッサージ」

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係

☎0240-23-7419

保 子育てひろば(いわき)

①内 自由遊び、身長体重測定、個別相談

時 9月17日(火)

期 3日前まで

②内 ベビーヨガ、身長体重測定、個別相談

時 10月15日(火)

期 1週間前まで

《共通》

時 午前9時30分～11時30分

場 大熊町役場 いわき出張所

定 母子5組程度(先着。定員になり次第終了)

申 必要。電話にて 対 未就学児と保護者(祖父母も可)

持 飲み物、おむつ、バスタオル

○体重測定希望の方・おむつ交換の際は、ご自身でバスタオルをお持ちください。

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係

保 幼児相談会(いわき)

時 9月30日(月) 午前10時～

対 大熊町の住民の方で、お子さんの対応方法や発育や発達についてお悩みをお持ちの保護者とお子さん

場 大熊町役場 いわき出張所

期 1週間前まで

問 大熊町役場 健康保険課 保健衛生係 (担当: 那須)



おおくまカレンダー

今月のイベント情報をまとめました。
丸数字（①など）は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。
通いの場のスケジュールは町公式 HP をご覧ください。

【実施団体】

- ♪ 主なイベント ○ その他 ■ 各コミュニティ団体
- ♣ 保健センター ● 出張所・連絡事務所
- おおくまコミュニティづくり実行委員会
- (★マークがついているイベントなどは予約が必要です)
- ◆ 町社会福祉協議会へのお問い合わせは ☎ 0240-23-5171
- 受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分

長月
September

日	月	火	水	木	金	土
1 ◎おおくま希望の翼 募集開始⑩	2	3	4	5	6 ■おおくま町会津会⑤	7 ♪なつ祭りinおおく ま2024
8	9	10	11	12 ■第4回ふれいあい 交流会in会津⑤	13	14 ◎ツール・ド・ふく しま2024⑩
15 ◎ツール・ド・ふく しま2024⑩ ◎生活循環バス一部運 休⑪	16 敬老の日 ◎民泊受付開始⑭	17 ♣子育てひろば⑫★	18 ♣健康教室⑫★ ♣保健センター開 放日⑫	19 ◎くまカラ2024⑬ ■ふるさとおおくま 会⑫★	20 ◎くまカラ2024⑬ ◎ふるさとまつり出 店者募集期限⑬ ■おおくま町会津会⑤	21 ♪写真ワークショップ⑬
22 秋分の日	23 振替休日	24	25 ◎農業者座談会⑭ ◎町内古跡めぐり申 込期限⑰★	26 ♣歩行力改善プログ ラム測定会⑫★ ◎くまカラ2024⑬	27 ♣歩行力改善プログ ラム測定会⑫★ ◎くまカラ2024⑬	28 ■駅前地区ゴルフ交 流会⑫★
29 ■熊川区⑫★	30 ◎おおくま希望の翼 募集締切⑩ ♣幼児相談会⑫★					

linkる大熊、ほっと大熊、
おおくまーとのニュースやイベント情報

大熊町交流ゾーンの
最新情報はこちら▶



問linkる大熊 ☎ 0240-23-7676
問ほっと大熊 ☎ 0240-23-5767

施設の予約、入居企業紹介セミナーやイベント情報

大熊インキュベーションセンターの
最新情報はこちら▶



問大熊インキュベーションセンター
☎ 0240-23-7721



舞踊とスポーツ民踊を楽しむ会

第4回ふれあい交流会in会津 会津公演

時 9月12日(木)

午前11時開場、午前11時30分開演

場 会津若松市文化センター 大ホール

内・唄と舞踊の共演(第1・3部)

・会津の民謡と(蘭の会)

&マジックショー(第2部)

問 代表・橘秀人 ☎090-5352-2576

熊川区

内 令和6年度第2回熊川区パークゴルフ大会

※終了後パークゴルフ場施設内で懇談会を開催します。

※クラブを申し込む方は参加の連絡時にお申し込みください。

日 9月29日(日) 午前9時受け付け、9時30分開演

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場

費 500円(保険、プレー代)

期 9月20日(金)まで

問 090-8251-4667 (区長・宇佐見忠)

090-5188-8163 (宮本明)

下野上1区ゴルフクラブ

ゴルフ大会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

時 10月25日(金)

場 バイロンネルソンカントリークラブ

(いわき市渡辺町上釜戸子繁130-2)

申 必要。詳細は申し込み時にお伝えします。

期 9月末日まで

☎090-2793-2462 (事務局・小田貴浩)

☎090-4882-0113 (会長・横山常光)

駅前地区ゴルフ交流会

大野1区、大野2区のゴルフ交流会を開催します。参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

詳細は、お申し込み時にお伝えします。

時 9月28日(土) 午前8時30分集合、9時4分開演

場 湯本スプリングスカントリークラブ

期 9月15日(日)まで

☎090-9535-8404 (中里忠良)

090-2279-7340 (浜本幸一)

090-6224-3253 (栃本政一)

おおがわら会

内 男めし(地産地消)&ニュースポーツ

秋に採れた地元の野菜を料理し、ニュースポーツで交流します。男性の調理メンバーも募集しています。振って申し込みください。

時 10月6日(日) 午前10時~午後1時

(午前9時45分受け付け開始)

場 linkる大熊 費 500円(高校生以下無料)

定 先着30人 申 必要 期 9月24日(木)まで

☎090-7072-6611 (山本千代子)

080-1669-2874 (坂井常雄)

※平日午前9時~午後5時

ふるさとおおくま会

内 あなたの健康づくり&食事会

時 9月19日(木) 午前10時~

場 いわき市草野公民館(いわき市平泉崎向原28)

対 大熊町民の皆さん 費 300円 定 先着30人

申 必要 期 9月9日(月)まで

☎090-2270-8138 (石橋英雄)

☎090-9531-4591 (愛場誠)

☎090-3531-9776 (富田睦子)

大熊町いわき会

内 西山荘と袋田の滝・竜神大吊橋方面バスツアー

時 10月31日(木)

場 午前7時 報徳観光駐車場出発

(午前7時25分泉公民館、午前7時45分植田駅)

対 大熊町民の皆さん

費 3,000円 定 先着30人 申 必要

☎090-5188-8163 (宮本明)

☎090-8929-9016 (坂本一郎)

おおくま町会津会

内 ①懇談会、②会津まつり・磐梯山踊りに参加

時 ①9月5日(金) 午前10時~

②20日(金) 午後4時~

場 県営白虎団地集会所

☎090-7078-2327 (山本)

こらんしょ大熊

内 介護について学ぼう

時 10月7日(月) 午前10時~

場 福島市・旧佐久間邸(福島市佐倉下加藤7-6)

対 大熊町民の皆さん

費 500円(お弁当付き) 定 15人

申 必要 期 9月30日(月)まで

☎080-6038-9219 (菅野佳代子)



おおくまフォトニュース「狙いを定め放つ一発」



8月12日にほっと大熊でミニ縁日が開催されました。昔懐かしの射的や輪投げ、千本釣りなどで盛り上がりました。射的で狙いを定める若き背中まさに「スナイパー」でした。

各 種 問 い 合 わ せ 先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-564-632

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター付属病院
☎23-5090

町社会福祉協議会
☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

移住・定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103

おおくままちづくり公社
☎23-7101

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温泉施設ほっと大熊
☎23-5767

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター

☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582

こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
大友 遥陽	凱 貴・麗 菜	大 野
荒木 乃音	紀 幸・友 美	熊 町

ご結婚おめでとう

花むこ	住 所	花よめ	住 所
藤田 正洋	いわき市	渡部 玲美	金谷 平

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
佐久間 雄治	72歳	旭 台
横田 トメ子	96歳	新 町
油井 昭一	61歳	新 町
田中 トシ子	90歳	久麻川
村上 秀義	79歳	東大和久
齊藤 富江	87歳	中央台

※令和6年7月届出

「広報おおくま」お届けします！

別々に避難されているご家族の避難先に広報紙が届いていない場合は、お届けすることができますので、送付をご希望の方は総務課秘書広聴係までご連絡ください。

また、別々に避難されていたご家族が一緒になり、複数の広報紙が不要になられた方もご連絡ください。

問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

大熊町 HP Facebook Instagram



— 編集後記 —
 皆さんの夏休みの思い出と言え、海や山で遊んだり、家族旅行に行ったり、宿題を頑張ったりとそれぞれの過ごし方があったと思います。
 私は「夏休み＝学校に行かないのですが、学び舎ゆめの森の夏休みは「今日も学校に行ける！」と思えるようなイベントがたくさん。学生時分にこんな学校があつたら楽しい夏休みの思い出がもつてきたのに…と、うらやましさを感じた夏でした。(梅田)

●人のうごき

(令和6年7月31日現在)
 住民基本台帳
 人口 9,983人
 世帯数 4,085世帯
 町内居住推計
 人口 1,296人
 (うち帰還者 274人)

●居住の状況

(令和6年7月31日現在)

都道府県	人数
海外	1
不明	1
北海道	32
青森県	12
岩手県	2
宮城県	175
秋田県	11
山形県	34
福島県	7,813
茨城県	428
栃木県	175
群馬県	67
埼玉県	333
千葉県	228
東京都	223
神奈川県	143
新潟県	140
富山県	4
石川県	11
福井県	5
山梨県	3
長野県	7
岐阜県	4
静岡県	8
愛知県	5
三重県	8
滋賀県	0
京都府	6
大阪府	16
兵庫県	7
奈良県	2
和歌山県	3
鳥取県	0
島根県	2
岡山県	2
広島県	3
山口県	2
徳島県	0
香川県	0
愛媛県	1
高知県	0
福岡県	20
佐賀県	4
長崎県	0
熊本県	2
大分県	6
宮崎県	26
鹿児島県	1
沖縄県	7
計	9,983

福島県内	人数
福島市	171
会津若松市	454
郡山市	947
いわき市	4,352
白河市	55
須賀川市	93
喜多方市	32
相馬市	94
二本松市	30
田村市	51
南相馬市	254
伊達市	8
本宮市	43
桑折町	0
国見町	2
川俣町	0
大玉村	42
鏡石町	10
天栄村	0
下郷町	0
檜枝岐村	0
只見町	0
南会津町	0
北塩原村	0
西会津町	0
磐梯町	5
猪苗代町	1
会津坂下町	13
湯川村	3
柳津町	0
三島町	0
金山町	0
昭和村	0
会津美里町	17
西郷村	16
泉崎村	19
中島村	0
矢吹町	17
棚倉町	1
矢祭町	0
塙町	1
鮫川村	6
石川町	3
玉川村	2
平田村	4
浅川町	0
古殿町	4
三春町	63
小野町	8
広野町	45
檜葉町	48
富岡町	29
川内村	11
大熊町	815
双葉町	0
浪江町	9
葛尾村	3
新地町	32
飯館村	0
計	7,813

本と旅する2024

今回の旅は山形です。

現在流行する短歌の歌人として近代文学史に優れた業績を残す一方で、精神科医でもあった斎藤茂吉記念館や、大人も子どもも誰もが涙した「泣いた赤鬼」の浜田広助記念館を訪れます。

また、今回は図書館と美術館を併設した東根市「まなびあテラス」や、旧大熊町図書館で使用していた暖かみのある天童木工製の家具を使用する「天童市立図書館」と「天童木工 工場」を巡りながら、町内に整備予定の図書館を含む社会教育複合施設における未来の読書活動への展望や、かつての旧大熊町図書館の記憶を語り合います。

山形の郷土料理や米沢の道の駅もお楽しみに。皆さんのご参加をお待ちしています。

時 10月21日～22日

場 山形県

定 20人程度（最少催行人数10人）

費 16,000円程度

申 電話かメールで問い合わせください。

期 9月末まで

問 大熊町役場 生涯学習課 社会教育係

メール shogaigakusyu@town.okuma.fukushima.jp



大熊町役場連絡先 ★本庁舎

課名	係名	電話番号 (0240)
総務課	秘書広聴係	23 - 7568
	行政係	23 - 7569
	財政係	23 - 7582
	管財係	23 - 7579
企画調整課	企画調整係	23 - 7584
	地域振興係	23 - 7586
ゼロカーボン推進課	ゼロカーボン推進係	23 - 7597
	産業振興係	23 - 7643
住民税務課	住民係	23 - 7146
	管理徴収係	23 - 7158
	賦課係	23 - 7154
健康保険課	国保年金係	23 - 7143
	保健衛生係	23 - 7419
福祉課	福祉係	23 - 7196
	介護保険係	23 - 7226
	包括支援係	23 - 7238
	子育て支援係	23 - 7197
環境対策課	生活環境係	23 - 7829
	消防交通係	23 - 7831
	廃炉・放射線対策係	23 - 7823
	(立ち入り問い合わせ)	23 - 7598
生活支援課	生活支援係	23 - 7444
	移住定住支援係	23 - 7456

課名	係名	電話番号 (0240)
農業振興課	農政係	23 - 7137
	農林土木係	23 - 7138
	坂下ダム 施設係	32 - 2318
復興事業課	都市計画係	23 - 7068
	建設係	23 - 7019
	下水道係	23 - 7091
用地調整係	用地調整係	23 - 7791
	出納室	出納係
議会事務局	庶務係	23 - 7840
	議事係	
教育総務課	総務係	23 - 7532
	こども教育係	23 - 7193
生涯学習課	社会教育係	23 - 7194
	スポーツ振興係	23 - 7518

★各出張所・連絡事務所

課名	係名	電話番号
会津若松出張所	庶務係	0242 - 23 - 4121
	保健福祉係	
教育総務課	こども教育係	0242 - 23 - 8025
いわき出張所	住民生活係	0246 - 36 - 5671
	健康介護係	
中通り連絡事務所	生活支援係	024 - 983 - 0686

★住所

大熊町役場 〒979-1306 大熊町大川原字南平 1717
 いわき出張所 〒970-1151 いわき市好間町下好間鬼越 18

会津若松出張所 〒965-0059 会津若松市インター西 111
 中通り連絡事務所 〒963-8035 郡山市希望ヶ丘 11-10